

町長	副町長	課長	主幹	担当	合議

別記様式第4号

会議等結果報告書					
会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議			文書番号	上富子育 第1359号
				決裁期日	令和3年2月17日
名称	令和2年度 第2回子ども・子育て会議				
日時	令和3年2月16日(火) 13:30~14:20				
場所	保健福祉総合センター 2階 研修室				
出席者	子ども・子育て会議委員15名うち林委員(教育委員会)欠席(別紙名簿参照) 役場 齊藤町長、鈴木保健福祉課長 保健福祉課 武山主幹、床鍋主幹、星野主幹、白井主査、大井主事				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開会(進行:鈴木課長) ・上富良野町長挨拶 悪天候の中、出席いただいたことに感謝する。妊婦健診から上富良野高校の支援までの各種事業により、小さなお子様から高校卒業まで切れ目のない子育て支援を行っていると感じているところであるが、昨今、少子化の影響で子どもも少なくなってきており、子育て支援の充実により、移住者等から選ばれるように私たちも努力していかなければならない。また、上富良野のような小さな町は、「過疎化」というのも大きなテーマであり、解決するためには、一生懸命子育てしていただいたお子様たちが上富良野で就職してもらいたい。大学卒業してから上富良野に帰って来れるような雇用場を作っていきたい。喫緊の課題として、町立病院の建て替えに伴う子どもセンターの移転問題が1つにある。既存のセンターは、建物自体老朽化しているものの、機能は充実していると好評いただいているところである。今後どうしていくかは、皆さんからお力添えをいただき、共に良いものを作っていきたい。 ・委員長挨拶 昨年4月より山本先生の後任を受けて委員長を務めさせていただいている。短い時間ではあるが、子育て支援の課題について話し合っていきたい。 <p>上富良野町長、次の用務のため退席。</p> <p>以降、議事については、松原委員長が進行。</p>				

1. 議題

(1) 令和2年度 各種実施事業の実施状況について…資料1

(事務局：白井主査説明)

資料1に基づき、議題について全体で確認した。委員からの質問・意見なし。

(2) 令和2年度 子育て支援に係る新規事業の実施状況について…資料2

(事務局：武山主幹説明)

資料2に基づき、議題について全体で確認。

松原委員長（質問）…新生児聴覚検査助成事業について、35人とは全数でよろしいか。

事務局…助成については、生まれた子ども全員の申請ということではあるが、これから申請する方や里帰り中で後ほど償還払いを受ける方などは、この人数に含まれていない。ただ、今年度は大きく出生数が落ち込んだため、ここから大きく増えることはないかと思う。60人上限くらいとなる見込みである。

(3) 上富良野町行政ホームページの見直しについて…資料3

(事務局：大井主事説明)

資料3に基づき、議題について全体で確認。

瀧本委員（質問）…令和2年度に拡充された養育支援訪問事業については、一覧が表示されているページにはないようだが、どこを見たら良いか。

事務局…お示したページ等、ホームページに詳しく掲載されていないため、事業の内容や対象者など、分かりやすく掲載できるようホームページを更新していきたい。

野原委員（質問）…ホームページをいつもスマートフォン（以下 スマホ）から見ているので、スマホの場合どこを見れば良いか。

事務局…町の行政ホームページをスマートフォン（以下 スマホ）で開くと「スマホ版」と「PC版」を選択できる状態となっているかと思う。子育てをされているお父さん、お母さんをはじめ、若い方はスマホを中心に情報の検索・収集を行っている。今回の行政ホームページの見直しが「PC版」のレイアウトについて行ったものであり、より多くの町民の方からご活用いただけるよう、「スマホ版」では

内 容

どのように表示されるか等も確認しながら、今後のホームページの見直しを行っていききたい。

(4) 令和3年度の会議（協議）予定について
（事務局：大井主事説明）

令和3年度は、6月と翌年2月の2回実施することを全体で確認。日時、議題等については、改めてご案内する。また、4月に団体等の代表者変更がある委員においては、後任の委員委嘱の手続きがあるため、ご協力をお願いしたい。

(5) その他

事務局（情報提供）…新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する資料については、令和3年1月18日現在の情報提供に基づき作成し、2月5日現在で一部修正している。今後においても変更される場合があるため、ご理解いただきたい。医療従事者においては、ワクチン接種は北海道が実施。町では国からの指示に従い、高齢者から接種順位を設け実施予定。ワクチン費用は無償。種類と接種については、日本では3種類のうちファイザー社製について委託し、提供を受けて接種をすとなっているが、他の2種についても検討されている。同一のワクチンを2回接種していただくこととなる。住民の皆さまには、3月10日号の広報誌によりお知らせしたい。3月末頃、日時を指定した個別案内を住民基本台帳登録対象者に予定。施設入所等は、家族、施設等と調整できる。ワクチンの接種会場は、保健福祉総合センターと町内2医療機関で、保健福祉総合センターでは、1階多目的ホールをご用意。ワクチン接種から30分程度健康状態の観察等で、隣の会議室等も利用し、皆さんが安全にご帰宅できるよう万全を期したい。接種相談窓口、問合せ先については、保健福祉課の健康推進班とさせていただいている。通常のお子様の予防接種の予約において、回線がつながりにくい状況があったため、回線の増設をし、ご不便をかけないよう体制を整えているところである。

今年度最後の会議ということで、委員1人1人からご意見等頂戴した。

鈴木副委員長…ホームページで項目がたくさんある部分、もっと見やすくできないだろうか。見映えも大事にしてほしい。また、ワクチンの受付について、スマホを活用した受付を導

入っていいかどうか。24時間受け付けることが可能なので、働いている方が夜に予約することも出来る。受付をする現場もかえって楽になるのではと思う。

野原委員…コロナ禍で子育て支援センターなどへ自ら出向いていくことが減ってきており、自宅等から検索を利用して情報を収集することが増えたので、ホームページ等がより分かりやすいものになればよいと思う。

内村委員…携帯で情報収集するので、予約などの手続きも携帯で出来るようになると思う。

林委員…去年の6月に次男が生まれ、聴覚検査助成事業も長男の時にはなかったで、とてもありがたかった。

野原委員…新型コロナウイルスのワクチン接種について、対象者の「基礎疾患があるもの」という表現が曖昧で、軽い持病を持っている人も含まれるのか、糖尿病など大きな病気を患っている人だけなのか、はっきり分かったら自分でも判断できるのでありがたい。

事務局…国で指定している基礎疾患についてご案内させていただくので、接種の際自己申告していただき、判断してもらうこととなる。

内 容

増田委員…感染症が拡大してちょうど1年くらいになるかと思うが、施設の代表の1人としてこの1年、子どもたちにはたくさん我慢してもらった。早くコロナが落ち着いてのびのび遊ばせてあげたいというのが、私たちの1番の思いである。まだまだ続く戦いであるので、保育士の先生方と一緒に考え、工夫して少しでも子どもたちの我慢を解消できるようにしていきたい。保護者の皆さまからもご理解、ご意見頂戴して共に進んでいけたら良いと思う。個人的に、医療従事者の方も大変でわがままは言えないが、日中仕事している方などのために、ワクチン接種は夜間も日曜日も開設していただくなど、自治体の方で柔軟な対応いただけると嬉しい。16歳以上が接種の対象だが、上富良野に住民登録はあるものの、大学生など町外に住んでいる方に対しては、その地域でも接種が可能なかどうか等の情報も知りたい。

伊藤委員…コロナウイルスによって、保護者や子どもたちにご不便をかけ、例年行っている行事も中止となった。感染予防に快くご協力いただいている保護者の皆さまには感謝している。上富良野で陽性者が出てから、園では玄関先での預かりさせていただきご不便をかけている。ワクチン接種によって少しでもコロナが落ち着いてくれることを願う。

内 容

増田委員…ホームページのことなど色々な意見が出たので、早期に改善しより良い子育て環境を作っていけたら良いと思う。

成田委員…今年度の町の出生率が低いにもかかわらず、次年度多くの低年齢児を保育所でお預かりする。それだけ早くに働く保護者が増えているのだと思っているが、町長も仰っていた働き口のある町づくりに感銘を受けた。札幌などの学校に通った保育士さんがなかなか町に帰ってこないで、町政に期待したい。

広瀬委員…ファミリーサポートセンター事業もコロナ禍でお母さんやお子さんが「人と関わる」、「人とつながる」というのを得ることがとても難しかった1年だったと感じた。その中で、どれだけ安心して過ごせる場所だとか人とつながる場所をどうやって私たちが提供できるか考えさせられた。1つの世帯の庭を開放して1組、2組の親子で過ごしていただくという取り組みを今年度行い、今後も必要だということで、来年度も1年間継続して取り組んでいく。そういう場においても、お父さん、お母さん、お子さんに安心を提供できるように努めていく。

藤澤委員…ホームページなどの仕組みは一昔にはなく、保健師さんなどの職員が文書や電話で1つ1つ案内をしてくれていたのものが出来たなど感心している。その反面、そういったものを苦手とし、外に出ていくのが難しい新しい妊婦さんはいないのだろうか。

事務局…妊婦に関しては、母子手帳の交付時だけでなく、中期、後期に妊婦相談を行っている。その間にも必要に応じて相談を行っている。その中で何かしらの支援が必要であれば、子育て支援班や子どもセンターとも連携し、支援を行っている状況である。

座間委員…ホームページの更新など、もう少し具体的にこういうものがこう見れたら良いなどあると作る方も作りやすくなると思う。子育て関係は手続きが多い印象があるので、スマホで申請等出来るようになると思うとスムーズに手続きできるので、ぜひ検討していただきたい。

瀧本委員…かみふ子育てネット「くるくる」でも今年度は多くの行事を中止にするかしないか判断することが多く、困惑した1年だった。外で行うハロウィンのみ実施したが、普段のサークル活動でも10世帯と集まると20人、30人になってしまうので、活動しないところも半分ほどあったように思う。お母さんの中でも、コロナワクチンの接種をするかしないか話すことがある。詳しいことは町からこれから説明があるのだと思うが、ホームページなどで、実際に接種する人の立場に立って、「本当にこのワク

チンはどのようなか」など分かりやすく説明していただける何かがあれば良いと思う。製薬会社3社でも違うと思うので、分かりやすいものがあれば、より安心して接種できるようになると思うので、少しでも工夫いただけたらと思う。

・閉会

内 容